

大阪府立大学工業高等専門学校研究紀要第50巻 発行に寄せて

著者	藤原 徳一
引用	大阪府立大学工業高等専門学校研究紀要, 2016, 50
その他のタイトル	Preface to Bulletin of Osaka Prefecture University College of Technology Vol.50 Publication
URL	http://hdl.handle.net/10466/15159

大阪府立大学工業高等専門学校研究紀要第 50 巻 発行に寄せて

本校は昭和 38 年度に大阪府立工業高等専門学校として設立されました。平成 23 年度からは公立大学法人大阪府立大学の管理下に置かれ大阪府立大学工業高等専門学校となり、平成 25 年度に創立 50 周年を迎えました。この間、大阪府の高専として、技術の高度化に対応した教育プログラムを展開し、ものづくりの街大阪に貢献してまいりました。

本校の研究紀要は、設立 5 年目に紀要委員会が設置され、昭和 43 年 2 月に第 1 巻が発刊されました。その後、昭和 45 年度の第 4 巻発行後に学内機構の改革により紀要委員会が廃止され、昭和 46 年度より図書委員会と図書館職員からなる編集委員により発行されることになりました。平成 18 年度には「研究紀要編集部会規定」が施行され、一般科目系および専門各コースから選出の委員で構成される編集部会の下に発行が継続され、本年度（平成 28 年度）第 50 巻発行という節目を迎えました。これもひとえに、教員の研鑽と関係の皆様方のおかげと感謝申し上げます。

紀要は身近な研究報告の場としての価値があります。また学際的分野、人文・社会系分野や若手教員の発表の場としても、紀要の果たす役割は大きいといえます。

教育主体の高専においても、近年の技術の高度化で研究的側面も重要性を増し、教育につながる研究はこれまで以上に重要になってきています。また、高専における研究とはどのようなものかを精査し、高専教育のあり方を見つめなおすことも必要です。さらに、研究紀要のあり方、研究公正を明確化し、有用な冊子にする努力も必要です。この意味で、「新時代の技術者に特に必要な資質である創意・工夫、研究心などの育成には、教員自身の真しな研究態度の感化にまつところが大きであって、教員の研究は、高等専門学校教育には欠くことができないものである。」と記された第 1 巻発刊の辞は、第 50 巻発行に際しても引用できる言葉といえます。今後も日々教育研究に多忙な教員から、有意義な論文がたくさん出されることを期待します。

研究紀要第 50 巻の発行を慶ぶとともに、高専が発行する冊子としての位置づけをより明確にし、さらに内容・評価体制を充実させ、全教職員が協力してその発展に努めてまいります。関係の皆様方には内容についての忌憚のないご意見を、また至らない点については叱責をお願いいたします。

本誌が高専教育の一助となることを願っております。

平成 28 年 11 月

校長 藤原 徳 一